

(活動報告書様式)

団体名	特定非営利活動法人 河北子育てアドバイザーセンター		
事業名	「教育の日」ってどんな日？ みんなで考え、みんなに参加		
助成事業区分	協働助成事業（一般型） 【県政課題：「やまがた教育の日」の周知啓発と県民運動の促進】		
団体の 所在市町村	河北町	事業費	298,354円
		うち助成金額	250,000円

## ■事業目的

教育の重要性は県民みんなが認めている。本事業は、教育を社会全体で支える基盤を創ることにより、教育に対する県民各層の理解と協力を促すものである。また、県内各市町村や団体等に対して、教育に係わる多様な情報を継続的に発信しながら、教育に関するイベント等の開催と参加を促し、次世代に引き継がれていくことを企図している。今年度2回開催した啓発イベントでは、スタッフ全員で子育て世代から90歳を超える世代まで参加を呼びかけ、多様な意見を頂いた。



## ■実施内容

- ①河北町は、町長・教育長・議長から、条例化や学校現場での取り組みを聞いた。
- ②谷地高等学校の校長先生に、教育の日・教育月間について全校生に話して頂いた。
- ③村山総合支庁管内の17校の高校を訪問し、校長先生に面談し、「教育の日・教育月間」の啓発ポスターやチラシを保護者や学校関係者等、来校者の目につく場所に掲示を依頼した。
- ④山形城北、山形学院、日大山形、山形明正、山本学園、東海大山形、創学館高校の校長先生や理事の方と面談し、県立高校と同様のことを依頼した。
- ⑤山形市、寒河江市、天童市、東根市、村山市、尾花沢市、朝日町、大江町、西川町、大石田町の市役所と教育委員会を訪問し、啓発ポスターの掲示を依頼した。
- ⑥令和元年11月第2土曜日(9日)、「教育の日・教育月間」の啓発イベントを開催した。講師とアシスタント役5名の高校生が様々な演技を披露し、大勢の参加者で賑わった。参加者は、「教育の日」・「教育月間」について大方知らなかった。
- ⑦座長とコーディネーターを山形大学・松本教授にお願いし、河北町副町長、学校教育課長、子育て中の保護者が参加し、「教育の日・教育月間」啓発意見交換会を2月23日(日)に開催した。
- ⑧意見交換会の参加者は、それぞれの立場から「教育の日・教育月間」の啓発の必要性を述べた。

## ■事業の成果及び今後の展望

### ①事業の成果

- ・市町、教育委員会、教育現場を訪問し、「教育の日」「教育月間」の啓発ポスター、チラシを市民の目につく場所に掲示したので、広く啓発された。
- ・訪問時に「教育の日」「教育月間」について意見を交わし、理解を深めた。

### ②今後の展望

- ・子育て中の保護者や幅広い年代層に広く深く啓発したことで、「教育の日」「教育月間」が話題になることが期待できる。
- ・首長との面談で、「教育の日」「教育月間」の条例を話題にしたことで、教育を地域ぐるみで支える意識の醸成が期待できる。

